石川県10／21(水)学習会の様子

石川テレビ、北陸朝日放送、テレビ金沢でも報道されました。

ぜんそく患者の不安 軽減へ注意点学ぶ

金沢の病院で学習会

新型インフル

新型インフルエンザに感染すると重症化の恐れがある成人ぜんそく患者の不安軽減のため、金沢市京町の城北病院で21日、患者や家族向けの学習会が開かれた。11月18日にも開催予定で、同病院の清水巍医師は「インフルエンザにかからず、ぜんそくも悪化させないための注意点を学ぼう」と話している。

厚労省によると、新型インフルエンザ入院患者のうち基礎疾患のある人は44%。ぜんそくなど慢性呼吸器疾患の患者はこの半数を占める。呼吸器に持病のある人はインフルエンザ感染で呼吸困難やぜんそくの発作を起こしやすくなり、症状が重くなる危険が大きいという。

学習会で清水医師は「ぜんそく患者がインフルエンザにかかりやすい訳ではない。感染を防ぎ、ぜんそくをコントロールすることが大切」と指導。手洗いやマスク、家族が感染した場合は部屋を分けるなどの徹底を呼びかけた。11月にも始まるワクチン接種については「副作用が不安な人はかかりつけ医師に相談してから接種を。何かあった場合すぐ処置できるよう、接種後30分は病院にいた方がいい」などと助言した。

11月18日は午前10時▽午後1時半▽午後6時半――の計3回開かれる。各回とも先着20人まで。申し込み、問い合わせは県喘息友の会(076・252・6746)まで電話かファクスで。【近藤希実】

新型インフルエンザの予防やぜんそく治療の最新薬などについて話す清水巍医師(中央奥)＝金沢市京町の城北病院で

０９／１０／２２　毎日新聞石川版

成人ぜんそく患者 重症化防止へ対策

21日と来月18日 新型インフル講習

新型インフルエンザ感染で重症化の恐れがある成人ぜんそく患者のための講演会が二十一日と十一月十八日の両日、金沢市京町の城北病院で開かれる。無料。事前申し込みが必要。

県喘息(ぜんそく)友の会常務理事を務める同病院の清水巍医師が講師。成人ぜんそく患者が感染しないための注意点や、感染しても重症化しないための対策を話す。厚生労働省がまとめたパンフレットも全員に配る。両日とも午前十時、午後一時半、午後六時半の一日三回。各回とも先着二十人まで。希望日時、氏名、住所、電話番号を明記し、同友の会＝076(252)6746＝までファクスで申し込む(電話も同じ)。

０９／１０／１７　北陸中日新聞

◆新型インフルで講演

新型インフルエンザの感染で重症化の恐れがある成人ぜんそく患者向けの講演会が21日、金沢市京町の城北病院で開かれ、参加者は感染の予防策やぜんそくを治療する新薬に理解を深めた。

県喘息(ぜんそく)友の会が主催した。常任顧問の清水巍同院副院長が呼吸器疾患のある人が新型インフルエンザに感染すると、発作や呼吸困難が起こりやすくなることを指摘。ワクチン接種の必要性を呼び掛けた。11月18日にも開かれる。

０９／１０／２２　北國新聞